

2013年4月26日

報道関係各位

バイク王 バイクライフ研究所

バイク王 バイクライフ研究所 『リセール・プライス』TOP10 を発表！ 『ホンダ CRF250L』が圧巻の3連覇！

対象期間 2012年12月~2013年2月

バイクライフの楽しさやバイク市場の動向を広く社会に発信することを目的に活動を行う『バイク王 バイクライフ研究所』（所在地:渋谷区広尾、所長:澤篤史）は、2012年12月~2013年2月の期間を対象に、『再び売却した際、高値の付くバイク』＝『“リセール・プライス”の高いバイク』上位10車種を発表します。

『“リセール・プライス”の高いバイク』は、需要の高いバイク、つまり『人気のあるバイク』と言い換えることもできます。今回は、昨年ホンダからリリースされた注目モデルがTOP3を独占する結果となりました。

- 『ホンダ・CRF250L』が堂々の首位！
第2回ランキングから3連覇を達成!!
- 前回第2位の『ホンダ・NC700S』に代わり
「ニューミッドコンセプトシリーズ」から
『ホンダ・NC700X』が第2位！
同じく『ホンダ・NC700X ABS』が第3位！



CRF250L

2012.04.13

※本プレスリリースに関する画像が必要な際は下記連絡先までご一報ください

プレスリリースに関するお問い合わせ先

■株式会社バイク王&カンパニー

バイク王 バイクライフ研究所

担当: 桐生、平見

TEL 03-6803-8855

E-mail bikelife_lab@8190.co.jp

東京都渋谷区広尾 1-1-39 恵比寿プライムスクエア 18F

■株式会社スパイスコミュニケーションズ

コミュニケーションサービス部

担当: 佐藤、三浦

TEL 03-6230-0536

E-mail bll_pr@spice-japan.com

東京都港区麻布台 2-3-22 一乗寺ビル

バイク王 バイクライ7研究所

■総合ランキング

順位	前回	メーカー・車種	リセール・プライス
1	1	ホンダ・CRF250L	79.8pt
2	-	ホンダ・NC700X	78.9pt
3	-	ホンダ・NC700X ABS	74.2pt
4	4	ホンダ・モンキー	73.6pt
5	-	ホンダ・CBR250R ABS	71.7pt
5	3	カワサキ・NINJA400R	71.7pt
7	5	カワサキ・W800	71.3pt
8	-	ホンダ・CB400SF	70.5pt
9	-	ヤマハ・ドラッグスター250	70.4pt
10	-	ヤマハ・TMAX	70.2pt

※今回対象期間 2012 年 12 月～2013 年 2 月、前回対象期間 2012 年 9 月～11 月

今回は、昨年 5 月に発売された『ホンダ・CRF250L』が、第 2 回ランキングから 3 連覇を達成し、変わらぬ人気を見せる結果となりました。

スタイリッシュなデザイン、快適な操舵性をあわせ持つ本モデルは、発売当初から高い人気を博しています。今後どこまで記録を更新していくのかが注目されます。

第 2 位には、前回ランクインを果たした『ホンダ・NC700S』に代わり、同じくニューミッドコンセプトシリーズから『ホンダ・NC700X』が TOP と 0.9pt 差という僅差で初のランキング入り。第 3 位には同シリーズ『ホンダ・NC700X ABS』がランクインしています。

どちらも昨年ホンダから発売された注目モデルで、優れた燃費と 21L のラゲージスペースを持ち、利便性に優れたモデルとなっています。既出の『NC700S』『NC700X』に『INTEGRA』を加えた「ニューミッドコンセプトシリーズ」、フレーム・エンジン・ホイールは共通としながらも、乗り味やスタイリングなど、それぞれの特徴を持つ本シリーズの更なる飛躍が期待されます。

また、4 位以下のランキングに目を向けると、『ホンダ・CBR250R ABS』や『ホンダ・CB400SF』、『カワサキ・NINJA400R』、『ヤマハ・ドラッグスター250』など、各メーカーの代表的な中排気量のモデルがランクインしています。春夏のバイクシーズンに向けて、ミドルクラスモデルの人气が高まってきていると言えるのではないでしょうか。

「第 40 回東京モーターサイクルショー」においても、『カワサキ・Z250』や『ホンダ・CB400F』、『ホンダ・400X』など、ミドルクラスのニューモデルが会場を賑わせていました。ライダーにとって待望のシーズンが到来することで、ランキングも大きな変動を見せるのでしょうか？

今後も『リセール・プライス』ランキングに、ご注目ください。

■排気量別ランキング上位 5 位

・原付一種・二種

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・モンキー	73.6pt
2	ホンダ・ジョルノ	69.8pt
3	ヤマハ・ジョグ	68.7pt
4	スズキ・アドレス V125S	66.3pt
4	ホンダ・ズーマー	66.3pt

バイク王 バイクライフ研究所

・軽二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・CRF250L	79.8pt
2	ホンダ・CBR250R ABS	71.7pt
3	ヤマハ・ドラッグスター250	70.4pt
4	カワサキ・ESTRELLA	70.0pt
5	ホンダ・CBR250R	69.9pt

・中型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	カワサキ・NINJA400R	71.7pt
2	ホンダ・CB400SF	70.5pt
3	ヤマハ・SR400	68.5pt
4	ホンダ・CB400SUPER BOLD'OR	65.7pt
5	ヤマハ・ドラッグスター400 クラシック	63.1pt

・大型二輪

順位	メーカー・車種	リセール・プライス
1	ホンダ・NC700X	78.9pt
2	ホンダ・NC700X ABS	74.2pt
3	カワサキ・W800	71.3pt
4	ヤマハ・TMAX	70.2pt
5	ホンダ・CB1100 ABS	66.0pt

■『リセール・プライス』とは

バイクを再び売却(=リセール)するときのプライス(=価格)を指します。

2013年4月現在、新車で購入が可能なバイクを対象とし、オークションで売却した際の落札金額の平均値と新車販売価格を基にリセール・プライスをポイント化。ポイント数が高いほど、リセール・プライスが高いと想定できます。

本指標は、年間14万台の取り扱い台数を誇るバイク買取専門店『バイク王』のデータを基に、バイク王 バイクライフ研究所が独自に集計したものであり、バイクユーザーが新車あるいは中古バイクを購入する際の参考情報として活用されることを目的としています。

■算定基準

- ・国内主要4メーカーが、国内で販売しているバイク(2013年4月現在・逆輸入車を除く)
- ・新車販売価格は2013年4月現在の価格を基準。カラー等により価格が複数ある場合は、最安値を基準に算定

【バイク王 バイクライフ研究所について】

バイク王 バイクライフ研究所は、『バイクライフの総合プランナー』をビジョンに掲げるバイク王&カンパニーが、バイクライフの楽しさやバイク市場の動向などを広く社会に発信することを目的に、2011年8月に発足した情報発信組織です。

昨今、バイク業界は新車の販売不振や趣味嗜好性の多様化による若年層のバイク離れなど、明るいニュースに乏しい状況が続いています。

バイク王 バイクライフ研究所は、中立的な立場を意識し、専門家やユーザーの方からの意見・データを収集・集積するとともにインタラクティブな情報交換を行い、その結果をユーザーやマスメディアに向け、積極的に発信することで、バイク業界の活性化に寄与していきたいと考えています。

バイク王 バイクライフ研究所



バイク王 バイクライフ研究所
所長 澤篤史